

『新纂浄土宗大辞典』改訂一覽表

令和元年9月1日版

- ・『新纂浄土宗大辞典』本体に挟みこんでお使いください。
- ・WEB版は9月1日に修正を行います（法然上人門流図を除く）。

項目

頁・段

改訂内容

六を下記に改訂する。

だいぜんじ【大善寺】

(1008頁・1段)

東京都八王子市大谷町。観池山往生院。東京教区No四五二。関東十八檀林の一。通称滝山大善寺。天正三年(一五八五)滝山城主北条氏照の開基。牛秀の開山。同一年徳川家康から一〇石の朱印地をもらい、慶長七年(一六一二)まで後に太田大光院に転住する吞龍が住職を務めていた。寛文一年(一六七二)には法度に関東十八檀林として署名しているが、いつから檀林として僧侶の養成機関となっていたか明らかでない。一三箇寺の末寺をもつ名刹で、十夜法要は関東三十大夜の二つとして有名。かつては一〇月三日から一五日までの三日間、境内は善男善女の参詣で賑わった。また往時には毎月八日に子育て吞龍の縁日がたった。慶応三年(一八六七)、明治八年(一八八五)の両度火災にあったが復興。明治二年(一八六九)には勅願所となり、戦後は単立となるが、平成三〇年(二〇一八)に浄土宗へ復帰した。

付録

法然上人門流図

(146頁・147頁)

裏面の図に差し替え

